



ごみ減量化市民懇談会での

質疑応答・意見・要望等

市は、ごみ減量化施策や生ごみの堆肥化、有料化などについて、市民の皆さんの意見をいただくため、11月4日(日)から13日(火)まで、市内11会場でごみ減量化市民懇談会を開催しました。

この懇談会の中で市は、ごみ処理の現状、ごみ処理基本計画、減量化の取り組みの3点を説明しました。

市民の皆さんからは、ごみ分別のアイデアや減量化への提言、生ごみの自己処理を促し自然にやさしい処理を進めることに好意的な意見のほか、ごみの有料化については、一部の方から反対の意見もありましたが、多くの方に賛同されるなど、様々な声をお聞かせいただきました。

主な質疑応答や意見・要望

【ごみの分別徹底および減量化】
 ■ 町会未加入者や集合住宅の分別徹底は ▼▼昨年9千500戸を訪問し啓発を実施

【ごみの有料化】
 ■ ごみの有料化と分別は ▼▼有料化により分別の意識が高まる事例もあつた。資源ごみは無料

にするなど、さらなる分別の仕組みを検討。なお、有料化の時期や金額は、市民の意見を参考に減量化検討委員会の提言を受けてから決定

【環境教育】
 ■ 子どもや保護者への教育は ▼▼各学校で電動生ごみ処理機の体験を実施中であり、保育園や児童館でも環境教育を実施している。今後も内容を検討し継続

■ 家庭内のリサイクルで排出抑制は限界である。税を使って処理しているの、ごみを減らす理由で有料化は理不尽

■ 子どもたちを通じた父母や家庭、大人に対するごみの啓発、教育が重要

■ 有料化は有効な手段。周辺都市からのごみの持ち込みも解消し、環境を守る意味でも導入すべき

■ 給食残さの堆肥化も、まず食べ残さないことを考え、自分で出したごみをどうするか、環境への影響はどうかを考える子どもに

【ごみ収集およびステーション】
 ■ 大型ごみを散らかす業者等の対策は ▼▼大型ごみを申込制にし、戸別収集することを検討
 ■ ステーションの更新助成を3分の1から2分の1くらいにして欲しい

【その他】
 ■ 減量化検討委員会や市民懇談会の情報公開は ▼▼検討委員会の進捗状況や議事録、市民懇談会の意見などは市のホームページ等で周知

【新処分場】
 ■ 生ごみの焼却は ▼▼様々な種類の生ごみに応じた焼却能力があり、特に問題はないと考える。水分が少なければ炉への負荷も少ない
 ■ 新処分場が完成したら、現処分場の跡地を有効活用すべき

■ 懇談会の参加者は、意識の高い人や町会(自治会)の役員がほとんどであり、ごみの分別ができない人は関心が低い。何回も地域へ入って徹底的に啓発を

■ 新処理施設のごみは、市の広報紙以外では知らされていない。計画概要など情報提供を

この他にも、たくさんの方の意見や要望などをいただきました。それらは、市のホームページに掲載していますので、ご覧ください。

ご協力

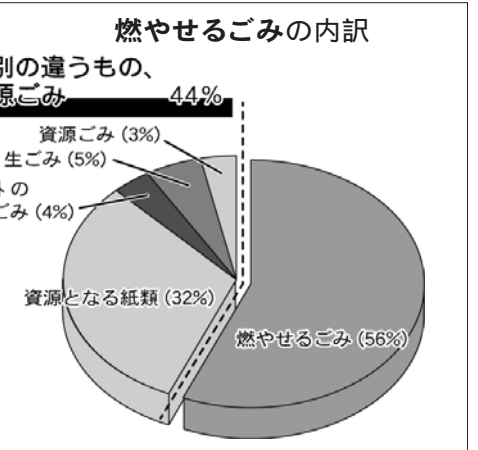


ごみの減量化に

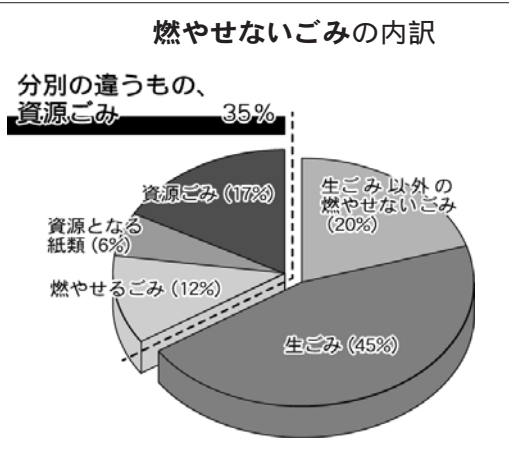
市は、自然にやさしい処理を基本に、市民の皆さんと協働でごみ減量化を図っていくこととしており、生ごみの自己処理による堆肥化などの取り組みを推進する必要があると考えています。

また、平成27年度までに、平成22年度と比較して、家庭系ごみを約17%減らす目標を定めています。

これらのごみの減量化には、市民の皆さんの協力が必要となります。ごみを減らすにはいくつかのポ



平成 21 ~ 23 年度の抽出調査の結果による。



家庭ごみ

- イントがありますので、市民の皆さんには次のことを守ってごみの減量化にご協力ください。
- ▼ごみを出るだけ少なくする
 - ・ 過剰包装や不用な包装は断る
 - ・ 洗剤やシャンプーなどは詰め替え品を使う
 - ・ 買すぎや、料理の作りすぎに注意する
 - ・ 生ごみの堆肥化を行う
 - ・ マイバックを持参し、レジ袋をもらわない
 - ・ 必要なものは購入しない
 - ・ 丈夫で長持ちするものを使う
 - ▼繰り返し使う
 - ・ 不用になつた洋服や家具などリサイクルショップを活用して、再使用してもらう
 - ▼資源として再生する
 - ・ 町会(自治会)の集団資源回収を利用する
 - ・ びん、缶、ペットボトルは、きちんと分別して、リサイクルステーションへ出す
 - ・ プラスチック製容器包装はごみステーションへ出す
- ごみ排出の現状**
- 市内のごみステーションへ排出されるごみの内、平成20年度から22年度の3か年で、燃やせるごみで約4

小型家電を回収しています

市は、廃棄物の適正な処理や資源の有効活用、循環型社会の形成を推進するため、小型家電を回収しています。回収した小型家電は、再資源化事業者へ引き渡します。

回収拠点	回収品目	受入時間
市役所本庁 北村支所 栗沢支所	携帯電話、PHS、電話機、電子辞書、ICレコーダー、据置型ゲーム機、携帯型ゲーム機、デジタルカメラ、家庭用ビデオカメラ、ETC車載ユニット、VICSユニット、CDプレーヤ、MDプレーヤ、テープレコーダ、デジタルオーディオプレーヤ	午前9時～ 午後5時30分 土・日曜日、祝日、 年末年始を除く。
じん芥処理センター	上記の品目を含む家電類 家電リサイクル法の対象となる、テレビ、冷蔵庫、洗濯機・衣類乾燥機、エアコンやパソコンは、受け入れできません。	月～土曜日 午前8時～午後5時 日曜日、祝日 午前9時～午後4時

いずれも、家庭から排出されるものが対象で、事業所から排出されるものを除きます

問合せ先 市廃棄物対策課リサイクル推進係

今冬も節電にご協力を —無理せず節電にご協力ください—

今冬の電力需給状況は、瞬間的な需要変動に対応するために必要な予備率3%以上を確保できる見通しですが、発電所のトラブルなど予期せぬ事態の発生による停電などの非常事態を回避するためにも、今夏に引き続き、国や電力会社から節電活動が求められています。

【節電目標】

7%以上(厳冬だった平成22年度冬に記録した過去最大の電力需要と比較しての節電目標です)

【目標が設定された期間・時間帯】

- 12月10日～28日 の平日 午後4時～9時
- 平成25年1月7日～3月1日 の平日 午前8時～午後9時(特に、一般家庭では午後4時～9時)
- 平成25年3月4日～8日 午後4時～9時

上記期間以外には、数値目標が設定されていませんが、可能な限り節電にご協力ください。

【節電目標を達成するために】

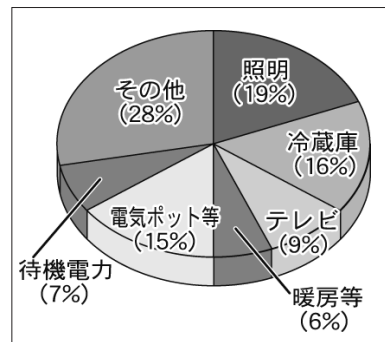
冬の一般家庭での午後7時ごろの器具別消費電力は、右のグラフのように、照明と冷蔵庫、テレビ、暖房で全体の約5割を占めています。厚着をして室内の設定温度を20に保ったり、家族一緒に暖かい食事をとったり、家族団らんでテレビを見たりして、使っていない部屋の照明や暖房の使用を控えるなどの取り組みにご協力ください。

《市役所での取り組み》

今夏の節電の取り組みを行った結果、一昨年度の同時期に比べて、本庁舎で30.1%の削減をしたのをはじめ、市の施設全体では、7.8%の削減をすることができました。今冬も引き続き、ノー残業デーの実施や、ウォームビズを励行するなど、積極的に取り組みます。

市民の皆さんにはご不便をおかけすることがあると思いますが、ご理解とご協力をお願いします。

問合せ先 市環境保全課環境保全係



家庭のごみ



燃やせるごみ

- ・紙くず・木くず
 - ・布くず
 - 木綿、麻、絹、ウールなど天然繊維 100%のもの
 - × 化学繊維を少しでも含むもの
- ※ 紙おむつやペットシート、猫砂は「燃やせないごみ」です。
- 「衣替えの季節の衣類は、まとめて大型ごみに出してください」

燃やせないごみ

- ・生ごみ(できるだけ堆肥化しましょう)
- ・ガラス ・せともの ・刃物類
- ・化学繊維を含む布類
- ・プラスチック製品
(バケツや歯ブラシ等のプラスチック製容器包装でないもの)

資源ごみ

- ・びん、缶ペットボトル
⇒リサイクルステーションへ
- ・プラスチック製容器包装
⇒ごみステーションへ
(プラマークを確認し、汚れを落とし、半透明の袋で出しましょう)
- ・紙類⇒集団資源回収を利用しましょう
(4ページを参照)
- ・小型家電⇒回収拠点へ出しましょう
(5ページを参照)

家庭ごみの分別は

割、燃やせないごみで約3割の分別の違うものや資源ごみが混入されています。
分別方法を再確認し、分別の徹底をお願いします。

問合せ先 市廃棄物対策課リサイクル推進係

底、資源化にご協力をお願いします。

集団資源回収奨励金交付制度のお知らせ

市は4月から、紙資源の回収活動を行う町会(自治会)等の団体に、その活動で集めた資源物の内、回収業者が引き取った紙類の量に応じ、1kg当たり2円の奨励金を交付しています。

奨励金の交付を受けるためには、事前に市へ資源回収団体の登録手続きが必要です。登録の翌月から奨励金の交付対象団体となります。詳しくは、お問い合わせください。

【対象団体】 町会(自治会)、子ども会、女性部、老人クラブ、PTAなどの営利を目的としない団体

【回収品目】

回収品目	併せて回収できる雑がみ	出し方
新聞	チラシ(広告)	折りたたみ、ひもで縛ってください
雑誌	包装紙、紙袋、はがき、ノート、手紙、カレンダー	ひもで縛ってください。はがきなどは、雑誌の間にはさんでください
ダンボール	ティッシュの箱、ラップの箱、トイレトーパーの芯、ラップの芯、菓子箱	折りたたみ、ひもで縛ってください。ティッシュの箱の取り出し口のビニールは取ってください
紙パック	ジュースのパック	洗って、開いて、乾かし、ひもで縛ってください

《紙類の回収量と奨励金の交付実績》

	実施町会・団体数実績	紙類の回収実績	奨励金交付額
4月～9月の実績	176団体	1,464 t	2,931千円

平成23年度の回収実績は、1年間で2,158 tでした。今年度は、半年で1,464 t回収しており、実施団体の協力で昨年度の実績を上回る見込みです

問合せ先 市廃棄物対策課リサイクル推進係

町会(自治会)では、紙類のほか、ビールびんやアルミ缶などの集団資源回収も実施しています。是非、それらも利用しましょう。